

魚津市文化の園整備事業

給排水衛生設備工事
さく井工事

完成図

平成6年9月

発注者 魚津市
設計・監理 株式会社山下設計
施工者 ダイシン設備株式会社・高松工業共同企業体
施工者 アイエス工業株式会社
施工者 高慶さく

魚津市文化の園整備事業

給排水衛生設備工事

完成図

平成6年9月

発注者 魚津市

設計管理 株式会社 山下設計

施工者 ダイシン設備株式会社・高松工業共同企業体

別紙3-2
給排水衛生設備（外構部分抜粋）及びさく井工事完成図

図面番号	図面名称	縮尺
1	特記仕様書	N・S
2	工事区分表	N・S
3	給排水工事平面図（その1）	1/500
4	給排水工事平面図（その2）	1/500
5	給排水工事各部詳細図・排水樹表	-
6	道路・駐車場融雪工事（その1）	1/500
7	道路・駐車場融雪工事（その2）	1/500
8	融雪工事各部詳細図・融雪装置表	N・S

別紙3-2 給排水衛生設備 (外構部分抜粋) 及びさく井工事完成図

I. 工事概要
 1. 工事名称 魚津市文化の園整備事業 給排水衛生設備工事
 2. 工事場所 富山県 津波 郡市 佐多 町村 各地
 3. 建物概要 (建物名称)

種	造	階	数	延面積(㎡)	消防令別表	備	考

4. 工事項目 (○印をつけたものを適用する)
 ○排水設備 ○給水設備 ○給湯設備 ○給湯設備
 ○消火設備 ○厨房機器設備 ○ガス設備 ○浄化槽設備

II. 工事仕様
 1. 共通仕様
 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、建設大臣官庁省庁等建設標準の機械設備工事共通仕様書 (平成元年版) 及び機械設備工事標準図 (平成元年版) による。
 2. 特記仕様
 (1) 図面に○印の付いたもの、項目は○印の付いたもの、特記事項は○印の付いたものを選択する。
 (2) ○印のない場合は、×印の付いたものを選択する。
 (3) 特記事項に記載の()内表示番号は建設工事共通仕様書の当該項目又は当該表を示す。
 (4) 本工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には、県内市場産品を優先使用する。

項	目	特	記	事	項
①	適用標準等	設計書の優先順序	1. 設計図	2. 特記仕様書	3. 共通仕様書
②	機材	使用機材は、設備機材等指定書によるほか、同等品以上とする。但し、同等品以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。			
③	発生材の処理	引渡しを要するもの	○なし	あり (1-1-9)	
4.	主任技師等の適用	資格の区分 I	※資格の区分 II	(1-2-2)	
④	技能士の適用	○配管 (配管工事) ・建築板金 (風通製作及び取付け) ・熱地盤施工 (保温工事) (1-5-2) ・冷凍空調機器 (チリングユニット、パッケージ形冷凍空調機の据付け及び整備)			
⑤	機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、共通仕様書による。	(1-4-4)		
⑥	監督員事務所	○設けない	設ける (1号・2号・3号・4号)		
⑦	工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手段などの費用は請負者の負担とする。			
⑧	足場・さん橋等	※別契約の関係請負者が設置したものは無償で使用できる。(4-1-1) ・本工事で負担する。			
⑨	工事区画の取り合い	工事施工区分表による。			
⑩	提出図章	管轄工事写真撮影要領により撮影する。(初回は堤防工事)			
(2)	設計図	工事中 カラーサービス判 1部 完成時 カラーサービス判 5部			
(3)	完成図	設計図 電外 8部 内線 8部 建築図 8部			
(4)	保守指導内容	設計図 電外 8部 内線 8部 (A3判 1部) 竣工図 3部	2部		
⑪	残土処理	○箱内盛ならし	箱内指定場所のない積	箱外搬出適切処理	
⑫	埋戻し及び整土	○覆り中の良質土	○山砂		
⑬	地盤工事	削り石及び玉石地盤 (削り石地盤 ・玉石地盤) 砂利地盤 (砂利 ○砕石)			
⑭	コンクリート工事	※レディミクストコンクリート (※I類 ・II類) (※6-1-1表) ・普通コンクリート (機械練り・手練り) ・普通コンクリート (設計基準強度 (※180kg/cm ² ・210kg/cm ²) コンクリート設計基準強度 (※実施する) 省略する) ・異形鉄筋 (※SD30 ・SD35) ・丸鋼 (※A種 ・B種)			
(2)	鉄筋	建築工事共通仕様書17章の(8.1-16.3) (8.1表) ~ (16.1表) 設表の品質 又は JIS規格品 ・規格外品 設表の規格種別			
16.	塗装及び防汚工事	塗装の品質 又は JIS規格品 ・規格外品 設表の規格種別			
①	保温工事	屋外・多湿箇所及びほり切り部分の側面 JIS K 5622-5625 重詰めつき面 屋内 JIS K 5627 K 5629 (露地処理エッチングプライマー) 屋外 JIS K 5629			
②	防水工事	○合板樹脂 JIS K 5492 ○アルミニウムペイント塗り JIS K 5492			

項	目	特	記	事	項							
給排水衛生設備工事の保温の種別												
給排水衛生設備	区	分	施	工	保	温	の	種	別			
										給水及び排水	屋内露出	a (ロ) I
											天井内、パイプシャフト内及び空腔壁中	c (ロ) I
											床下、暗室内	d (ロ) I
											屋外露出及び浴室、厨房などの多湿箇所	e (ハ) I
										排水及び通気	屋内露出	a (ロ) I
											天井内、パイプシャフト内及び空腔壁中	c (ロ) I
											浴室、厨房などの多湿箇所	e (ハ) I
										給湯	屋内露出	a (ロ) II
											天井内、パイプシャフト内及び空腔壁中	c (ロ) II
	床下、暗室内及びコンクリート埋込み部	d (ロ) II										
	屋外露出及び浴室、厨房などの多湿箇所	e (ハ) II										
井水	屋内露出	A (ロ) W										
	天井内及びパイプシャフト内	C (ロ) W										
	床下、暗室内及びコンクリート内	D (ロ) W										
	屋外露出及び浴室、厨房などの多湿箇所	F (ハ) W										
		f (ロ) V										
		g (イ) V										
		h (イ) V										
(2) 給水、井水用配管で呼び径65以上の井、ストレーナなどはビスなどにより容易に着脱できる金属性カバーによる外装を施す。なお、屋内用は(※カラー塗装給鉄板)・屋外及び多湿箇所用は(※ステンレス鋼板)とする。												
18.	容量等の表示	(1) 機器の能力、容量等 (電動機出力を除く) は原則として表示された数値以上とする。 (2) 電動機の出力は原則として表示された出力以下の容量とする。										
19.	電気工事	(1) 機器付属の制御盤及び操作盤以外の電気配管、配線は(※本工事・別途工事)とする。 (2) 制御盤及び操作盤に付属する機器の接地は(※本工事・別途工事)とする。										
20.	耐震措置	機器、配管、風道等は耐震を考慮し、堅固にすて付け、取付け又は支持を行う。										
21.	土中埋設配管の防汚処理	共通仕様書第2編1-1-2及び第2編1-7-8による。 (1) 合板樹脂外面被覆鋼管には管節防汚扉を使用して、防汚処理をする。										
22.	他工事との取り合い	機器の設置は下記による。 屋上設置 (※別途 ・本工事) 屋内設置 (※別途 ・本工事) 屋外設置 (※別途 ・本工事) ・補強を要する鉄筋コンクリートの躯体 (梁、壁、床) の貫通スリーブ 補強筋は (※別途 ・本工事) とする。 ・壁及び床貫通の管 (給湯、空調、排水、吹出口、吸込口、換気、大便管等) の補強筋は (※別途 ・本工事) とする。 ・天井及び壁のボード類の下の補強及び切り込みは (※別途 ・本工事) とする。										
23.	研り	既存のコンクリート床及び壁の配管貫通部の穴明けはダイヤモンドカッターによる。										
24.	スリーブ	○紙製 ○鋼製										
25.	その他	多湿箇所の支持架台等は溶接止めつき鋼材を使用する。										
1.	大便器洗浄弁	※節水形	一般形	(1-1-4)								
2.	小便器洗浄弁	※個別光電管+フラッシュ	一般形	一括光電管+ハイタンク								
3.	小便器洗浄弁	※露出	隠ぺい	※防汚形								
4.	小便器洗浄弁	※埋込	露出管 (※SGP-VB ・SGP-PB)	(1-1-5)								
5.	化粧箱	※陶製 (露出形)	・ガラス製 (※埋込)	(1-1-7)								
6.	既設流し台等	形式	B・L形	・市販形								
7.	取付箇所	材質	ステンレス鋼板 (※SUS304 ・SUS430)									
1.	給水方式	○水道直結	・高圧水	・圧力水								
2.	圧水器	○ポンプ直結制御式給水	○井水	・上水								
3.	圧水器	・子メータ (※本工事 ・貸与)										
4.	圧水器	・標準図MC型	・水道工事業者仕様									
5.	圧水器	水道直結部分	JIS (※5kgf/cm ² ※10kgf/cm ²)									
6.	圧水器	その他の部分	JIS (※5kgf/cm ² ・10kgf/cm ²)									
7.	圧水器	※標準図による。										

項	目	特	記	事	項	
6.	配管材料	屋内配管 ・ライニング鋼管 (SGP-VB) ・ポリ塩化ビニル管 (SGP-PB) ・ステンレス鋼管 (SUS304TPD) ・鉛管 2種 ・SGP-VB ・SGP-FVA ・SGP-PA ・SGP-FPA 地中埋設配管 ○ライニング鋼管 (SGP-VD) ・ポリ塩化ビニル管 (SGP-PD) ・耐摩耗性硬質塩化ビニル管 (HIVP) ・SGP-FVD ・SGP-FPD ※給水管の最小口径は20mmとする。 7. 可搬機手 ・ベローズ形 合成ゴム製 8. 防錆 一般共通事項によるほか下記による。 鋼管および切り部及びコンクリート埋込み部は、共通仕様書第2編2-2-1の塗料による。さび止めペイント2回又はアングコート1回塗りを行う。 9. 水 屋上水 ・FRP一体形 ・ステンレス製 受水 ・FRP一体形 ・FRP製ハネ形 ・ステンレス製 鋼板製 10. 水 高圧水 G 受水水 G 11. 保 一般共通事項による。但し、下記部分は本仕様とする。 12. 水 屋外露出管 (非露出) は、防凍保温を行うものとし、仕様は冷水管の項による。 13. 水 ・新製型 ※アルミ製 ・合成樹脂製 14. 水 一般敷地の埋設深さは原則として、450mm以上 (凍結防止による) ※要 (図示の箇所) ただし、埋設表示用テープは不要とする。 15. 水 ・要 (別途) ・本工事 ・不要 標準図の(○) (a) ・(b) ・(c)) による。 16. 水 機器、配管、風道等は耐震を考慮し、堅固にすて付け、取付け又は支持を行う。				
1.	排水方式	汚水放流先 (○公共下水 ・浄化槽) 雑排水放流先 (○公共下水 ・合併処理浄化槽 ・併用) 化学排水				
2.	配管材料	汚水 ・排水用鋼管 JIS G 5525 (1-1-1) ・メカニカル形排水鋼管 HASS 210 ・コーティング鋼管 JIS G 3452 ・硬質塩化ビニル管 VP ※鉛管 HASS 203 雑排水 ・配管用炭素鋼管 JIS G 3452 SGP-白 ・コーティング鋼管 JIS G 3452 ・硬質塩化ビニル管 VP ・鉛管 HASS 203 屋外排水 ○ヒューム管 (B型) ・硬質塩化ビニル管 VP				
3.	防錆	給水設備の防汚の項による。				
4.	洗面器等の排水	・洗面器及び手洗器に直結する排水管寸法は、器具トラップより1サイズupとする。 ・既設流し台などの床下露出部の配管は、硬質塩化ビニル管VPでもよい。				
5.	排水材及び布設	標準図による。鋼製製薬品は標準マーク入り。(1-8-4) (1-8-5) 図示箇所に取り付ける。				
6.	排水材及び布設	排水鋼管の保温はグラスウール保温帯を使用してもよい。				
7.	排水材及び布設	※標準図による。 ○詳細図に33				
8.	排水材及び布設	建設物外壁に埋設する排水管は、必ず熱断材を施す (埋設部分) とする。				
1.	排水設備の種類	・屋内消火栓 ・スプリンクラー装置 ・ハロゲン化物消火装置 ・泡消火装置 ・粉末消火装置 ・屋外消火栓 ・連結給水管 ・連結排水装置 (1-5-1-9) 2. 配管材料 ・配管用炭素鋼管 JIS G 3452 SGP-白 ・圧力配管用炭素鋼管スケジュール40以上 (ハロゲン化物消火) ・外面ビニルライニング配管用炭素鋼管 (SGP-FPS) (地中埋設) 給水設備の防汚の項による。 3. 防 ・HB-1A ・HB-1B ・HB-2A ・HB-2B 4. 屋 10kgf/cm ² 圧力調整弁付 5. 消 一般共通事項による。但し、下記の部分は本仕様とする。 6. 保 屋外露出管 (非露出) は、防凍保温を行うものとし、仕様は冷水管の項による。 7. 試 ハロゲン化物消火装置の放出試験には二酸化炭素を代用してよい。上記以外は(1-8-4)による。 8. 建 標準図の(○) (a) ・(b) ・(c)) による。				
1.	使用ガス	・都市ガス ・液化石油ガス				
2.	配管材料	・配管用炭素鋼管 JIS G 3452 SGP-白 ・圧力配管用炭素鋼管 JIS G 3454 STPG				

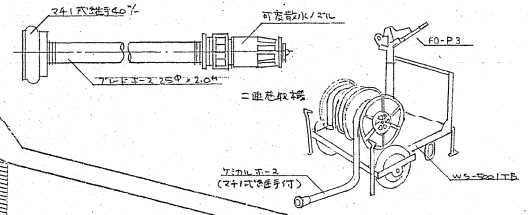
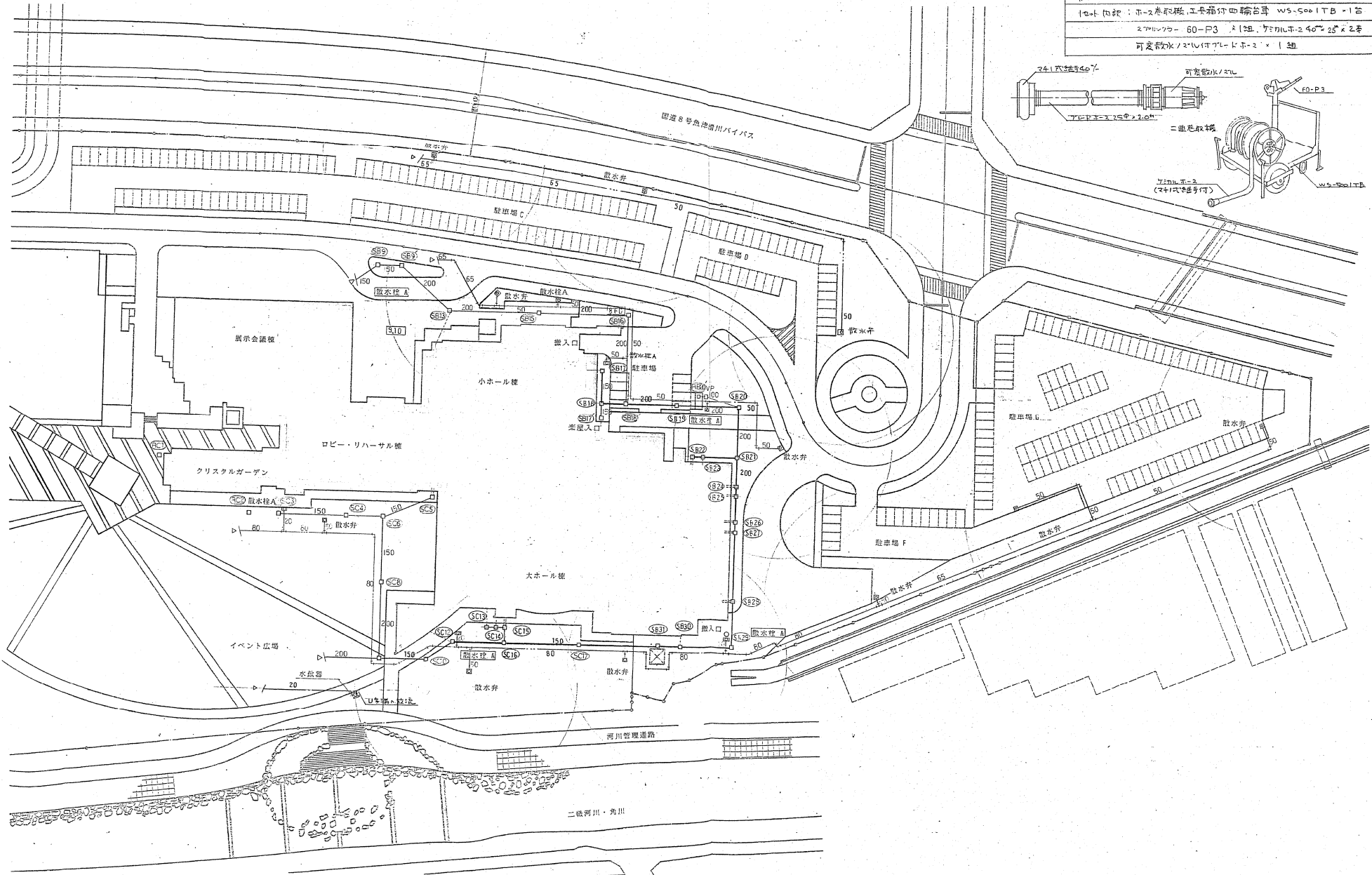
項	目	特	記	事	項
1.	配管方式	散水方式 (井・く)			
2.	配管材料	散水パイプ部 --- 耐衝撃硬質塩化ビニル管 (HIVP) (内) 給水管 --- ライニング鋼管 (SGP-VD)			
3.	ガス集合装置	・ポリエチレン被覆鋼管 JIS G 8469 PLS (地中埋設) ・塩化ビニル被覆鋼管 (地中埋設) ・本工事 (kg 本立) ・別途 子メータ (貸与 ・本工事) 4. ガスメータ 5. 井・コック及び栓 (1) 井 ・ボールバルブ JIS 10kgf/cm ² --- 都市ガスの一次側 ・玉形弁 JIS 20kgf/cm ² --- LPガスの一次側 ・仕切弁 JIS 10kgf/cm ² --- 都市ガス、LPガスの二次側 ・ヒューズコック (3/8) ・ネジコック ・可とう管コック ・メータコック ・ゴム管 ・強化ゴム管 ・金属可とう管 ・金属管 6. ガス 取りつける 7. 地中埋設指示 ・設置する (標準シート共) 8. 埋 一般敷地では450mm、埋設管では750mm以上とする。 9. 試 ・都市ガス 気密試験保持時間 60分 (2-2-6) ・液化石油ガス 気密試験時間 24分 (3-2-6) ※気密試験結果のチャートは提出する。			
10.	建物取入部配管	標準図の(○) (a) ・(b) ・(c)) による。			
1.	配管材料	・鋼管 C 1220のMタイプ ・ステンレス鋼管 (JIS G 3448) (1-1-1) ※取り付ける (鋼製ボイラ、熱交換器などに異種金属管を接続する場合) JIS (・5kgf/cm ² ・10kgf/cm ²) (1-7-2) 2. 電 使用するガス (・都市ガス ・液化石油ガス) 発熱量 (kcal/m ³) kcal/kg) 3. 井 ・ステンレス製フレキシブルチューブを使用しよ。			
4.	ガス	燃焼ガス (・都市ガス ・液化石油ガス)			
5.	ガス	燃焼ガス (・都市ガス ・液化石油ガス)			
6.	燃	給湯ボイラ 煙突 (・本工事 ・別途) 燃焼 (・本工事 ・別途) 鋼板 (JIS G 3101) の厚さ (・3.2mm) ガス燃焼 排気管 (・本工事 ・別途) 材質 ステンレス鋼板 SUS 304 厚さ 0.5mm以上			
7.	保	一般共通事項による。但し、下記のものは本仕様とする。 ・湯沸器から水栓までのコンクリート埋設配管は防水布巻とする。 ・膨張水栓及び減圧水栓の保温は(※要 ・不要) とする。			
1.	機	ABC粉末消火器 号 本 消火器収納箱 号 本			
2.	貯	ABC粉末消火器 号 本 消火器収納箱 号 本			
1.	処理	人 m ³ /d 二次処理 水素イオン硬度 (PH) 5.8-8.6 生物化学的酸素要求量 (BOD) 90mg/L以下 浮遊物質 (SS) 120mg/L以下 三次処理 生物化学的酸素要求量 (BOD) mg/L以下 浮遊物質 (SS) mg/L以下			
4.	埋	単独埋設方式 (合成樹脂製品とする) 二次処理 ・分能接続ばつ気方式 ・分能ばつ気方式 三次処理 ・接続ばつ気方式			
5.	コン	建築工事共通仕様書による。 設計図による。			
7.	マン	MHA蓋 富山県準マーク入り (露出) 1ヶ月相当分以上を納入する。			
9.	試	浄化槽使用開始3ヶ月後、1回放水水质の測定結果を報告する。			
10.	流	GL			

取 合 部 分 の 工 事 区 分

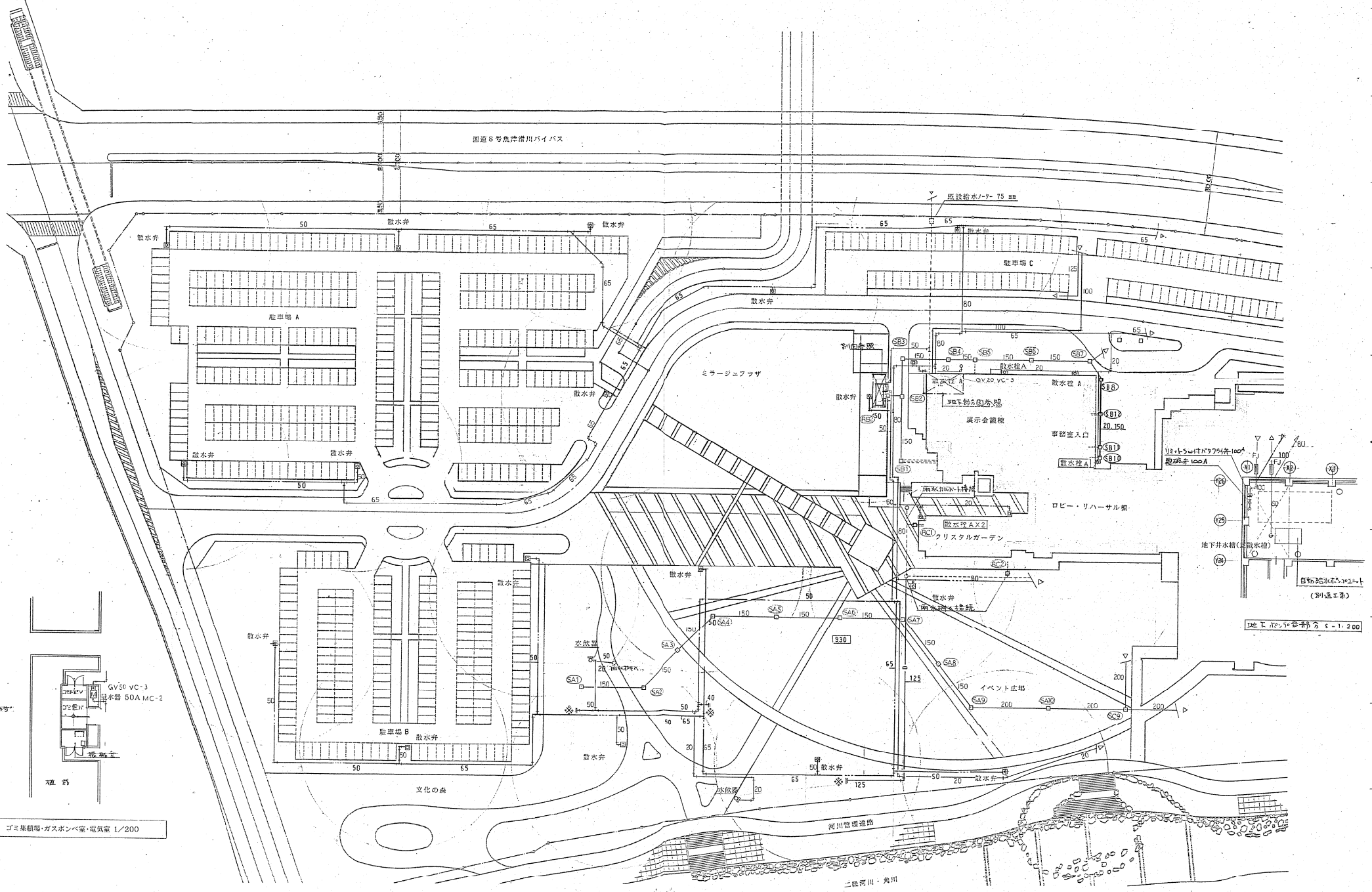
番 号	内 容	外 構	電 気	衛 生	さく井	別 途	備 考
1	構造躯体の貫通スリーブ又は箱入れ		○	○			
2	スリーブ及び箱入れの躯体補強		○	○			
3	スリーブ及び箱入れの穴埋め補修		○	○			
4	コンクリート槽類（防水・仕上げ・断熱共）	○					
5	コンクリート槽類の連通管・排水管・通気管など	○					
6	コンクリート槽類のマンホールカバー・タラップなど	○					
7	ルーフドレーン	○					打込みとする。
8	縦型配管及び第一階までの配管接続	○					
9	屋内に設置する機器の基礎及び仕上げ		○	○			
10	機器設置に対する躯体補強	○					
11	屋外機器設置の基礎工事一式	○注)	○	○			注) 特記あるもののみ
12	機器設備のアンカー取付け及び穴埋め補修		○	○	○		
13	機械室内の排水溝及び箆蓋	○					
14	各設備のための床・壁・天井の点検口	○注)	(図示以外は各工事で負担)				注) 図示又は歩掛りで表示
15	外壁取付ガラリ	○					
16	内壁取付ガラリ	○注)					注) 特記あるもののみ
17	壁・天井の照明器具・鏡等の開口及び補強	○					突出しは電気工事
18	設備機器類の突出し・取付け		○	○	○		
19	化粧鏡類			○			
20	機器の遮音・防音・防振工事		○	○	○		
21	躯体関係の断熱工事	○					
22	生活排水管及び併			○			
23	同上排水管と下水道中継槽の接続						下水道
24	上水道・下水道の引込工事負担金						建築主負担
25	電力引込工事負担金						建築主負担
26	上水道・下水道の本引込工事後の使用料金	○	○	○	○		
27	本受電後の電力料金	○	○	○	○		
28	本受電後及び上・下水道引込後の基本料金	○	○	○	○		
29	消火器					○	
30	各槽類の電極棒（保持器共）・スロートスイッチ		○	○			
31	同上の電気配管配線工事		○				
32	衛生設備の自動制御工事一式			○			
33	共同溝・U字溝・L字溝・縁石類	○		○注)			注) 特記あるもののみ
34	敷地内の雨水配管及び雨水渠	○					
35	植栽工事	○注)				○	注) 特記あるもののみ
36	サイン工事					○	
37	配管配管設備及び基礎工事一式			○			
38	コロネード列柱	○					
39	同上照明器具及び配線		○				
40	防水検査設備工事一式			○			
41							

別紙3-2
給排水衛生設備（外構部分抜粋）及びさく井工事完成図

散水栓 A: 一体型散水栓ボックス T27-13 B-3 0V20 B-1-1 体組込 X 13
散水栓: 壁埋込型散水栓ボックス (SUS 製) X 2
散水弁: 側かん用回転式弁 TAV-40-45 弁径40φ NNB450 X 12
管継ぎ (27φ) ワラ-セト X 2 組
ポンプ内装: ポンプ巻取機、工具箱付回転台車 WS-5001TB-1台
27φ用ワラ- 60-P3 X 1組、77φ用ワラ-2 40φ 25φ X 2台
可変散水ノズル付アールポンプ X 1組



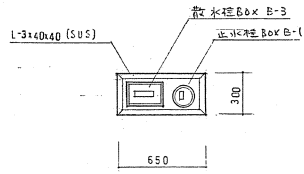
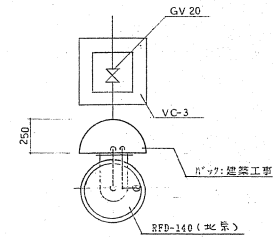
別紙3-2
給排水衛生設備（外構部分抜粋）及びさく井工事完成図



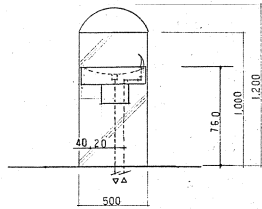
地下排水設備等 s-1.200

ゴミ集積場・ガスボンベ室・電気室 1/200

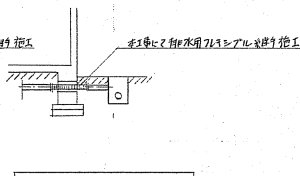
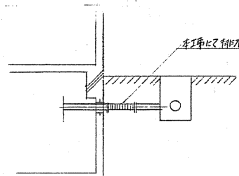
別紙3-2
給排水衛生設備（外構部分抜粋）及びさく井工事完成図



一体型散水栓BOX型
(散水栓 A)

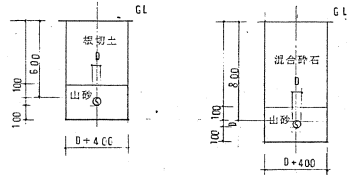


ステンレス製水栓器取付図



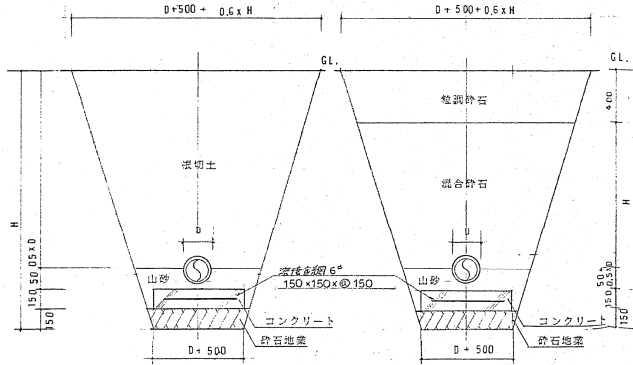
建物工場の排水管を通し配管詳細

建物工場の排水管を通し配管詳細



給水管土工断面図(その他の部分)

給水管土工断面図(道路、駐車場)



排水管土工断面図(その他の部分)

排水管土工断面図(道路、駐車場)

物 表

井記号	地盤高	管底高	井深	井仕様	蓋種別	備考	井記号	地盤高	管底高	井深	井仕様	蓋種別	備考
SA 1	10.430	9.110	1.320	SC-4	B		SA 1	8.510	7.910	600	SC-3	D	
SA 2	10.260	8.920	1.340	"	B		SA 2	8.700	7.760	940	"	D	
SA 3	9.930	8.770	1.160	"	B		SA 3	8.870	7.660	1,210	SC-4	D	
SA 4	9.840	8.610	1.230	"	B		SA 4	9.140	7.540	1,600	"	B	
SA 5	9.580	8.420	1.160	SC-3	B		SA 5	9.025	7.480	1,545	"	B	
SA 6	9.360	8.230	1.130	"	B		SA 6	8.985	7.320	1,665	"	B	
SA 7	9.280	8.040	1.240	SC-4	B		SA 7	9.020	7.180	1,840	"	C	
SA 8	9.240	7.870	1.370	"	B		SA 8	9.020	7.930	1,090	"	C	
SA 9	9.190	7.700	1.490	"	B		SA 9	8.985	7.090	1,895	"	C	
SA 10	8.980	6.620	2.360	"	B		SA 9'	8.925	7.010	1,915	"	C	
RC 1	9.190	8.080	1.110	RC-3	C	雨水加圧機	SA 10	9.130	8.210	920	SC-3	C	
RC 2	9.130	8.080	1.050	"	B	"	SA 11	9.105	8.170	935	"	C	
SC 3	9.100	8.090	1.010	SC-3	B		SA 12	9.085	8.070	1,015	"	C	
SC 4	9.120	7.900	1.220	"	B		SA 13	8.910	6.860	2,050	"	C	
SC 5	9.050	7.920	1.130	"	C		SA 15	8.775	6.660	2,115	"	C	
SC 6	9.130	7.780	1.350	"	B		SA 16	8.835	6.460	2,375	"	B	
							SA 17	8.655	7.620	1,035	SC-3	B	
SC 8	8.770	7.590	1.180	SC-4	B		SA 17'	8.660	7.620	1,040	"	B	
SC 9	8.810	6.390	2.420	"	B		SA 18	8.650	7.550	1,100	"	B	
SC 10	8.750	6.280	2.470	"	B		SA 18'	8.195	6.310	1,885	"	D	
							SA 19	8.160	6.210	1,950	"	D	
SC 12	8.700	6.200	2.500	"	B		SA 20	8.360	6.090	2,270	"	B	
SC 13	8.660	6.970	1.690	"	B		SA 21	8.505	6.000	2,505	"	B	
SC 14	8.660	6.930	1.730	"	B		SA 22	8.515	7.910	605	SC-3	B	
SC 15	8.660	6.890	1.770	"	B		SA 23	8.590	7.860	730	"	B	
SC 16	8.680	6.090	2.590	"	B		SA 24	8.330	5.910	2,420	SC-4	B	
SC 17	8.450	5.900	2.550	"	B		SA 25	8.305	5.880	2,425	"	B	
							SA 26	8.275	5.820	2,455	"	B	
							SA 27	8.270	5.790	2,480	"	B	
RB 2'	8.750	7.860	890	RC-1	C	トラップ材	SA 26	8.210	5.690	2,520	"	B	
RB 20'	8.300	7.500	800	"	C	トラップ材	SA 29	7.960	5.620	2,340	"	D	
							SA 30	8.200	5.470	2,730	"	D	
							SA 31	8.300	5.410	2,890	"	D	

※1 地盤高、管底高は基準点よりの高さを示す(単位: m)

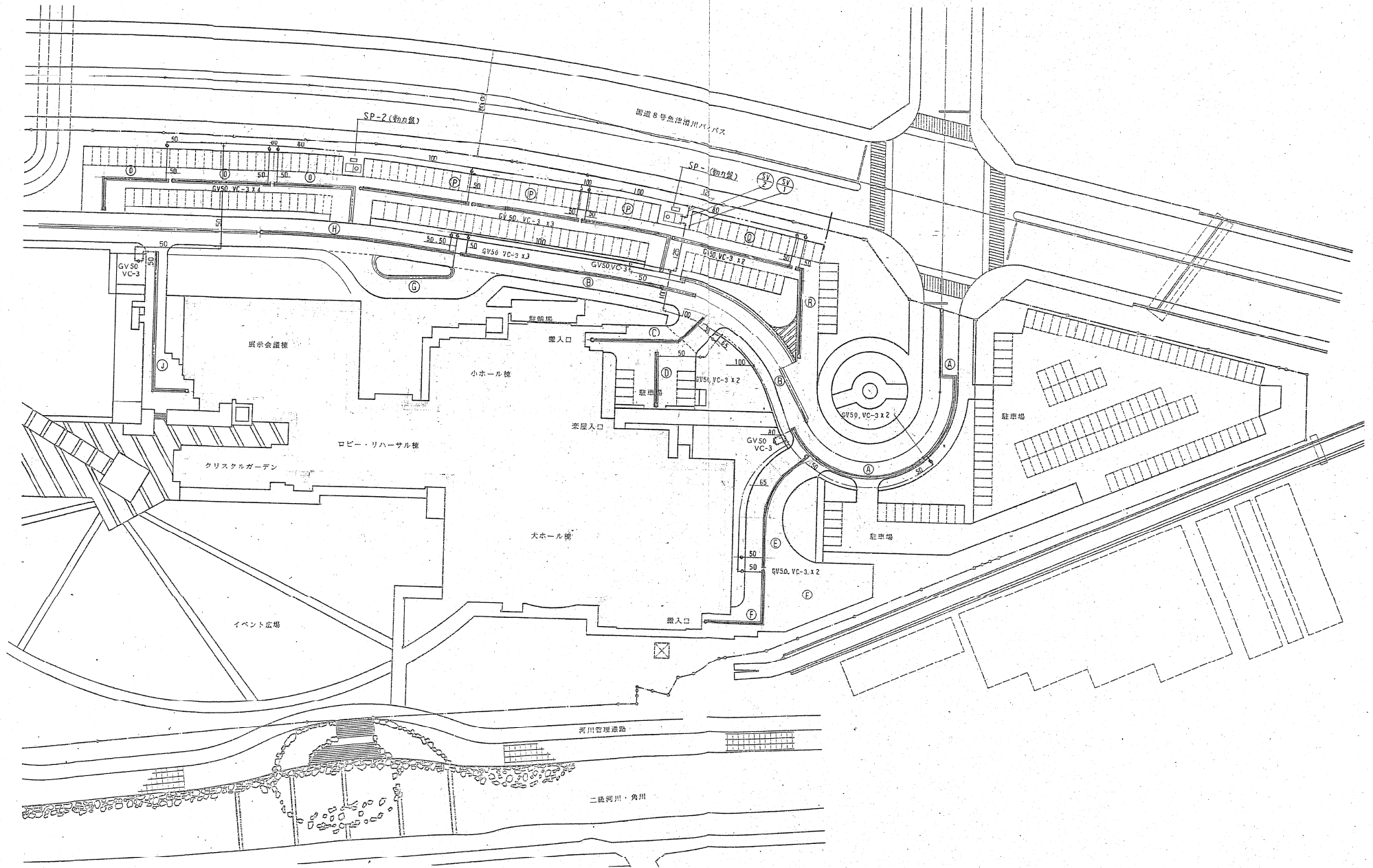
※2 井深は地盤高と管底高の差を示す(単位: mm)

※3 井仕様は機械設備工事標準図「機材 47」による(SC-2: 井本体 450×450、蓋450φ SC-3: 井本体 600×600、蓋600φ SC-4: 井本体 800φ、蓋800φ)

※4 蓋種別は次による A: MHA B: MHB C: 角型化粧蓋 D: トラップ材(重量500kg)

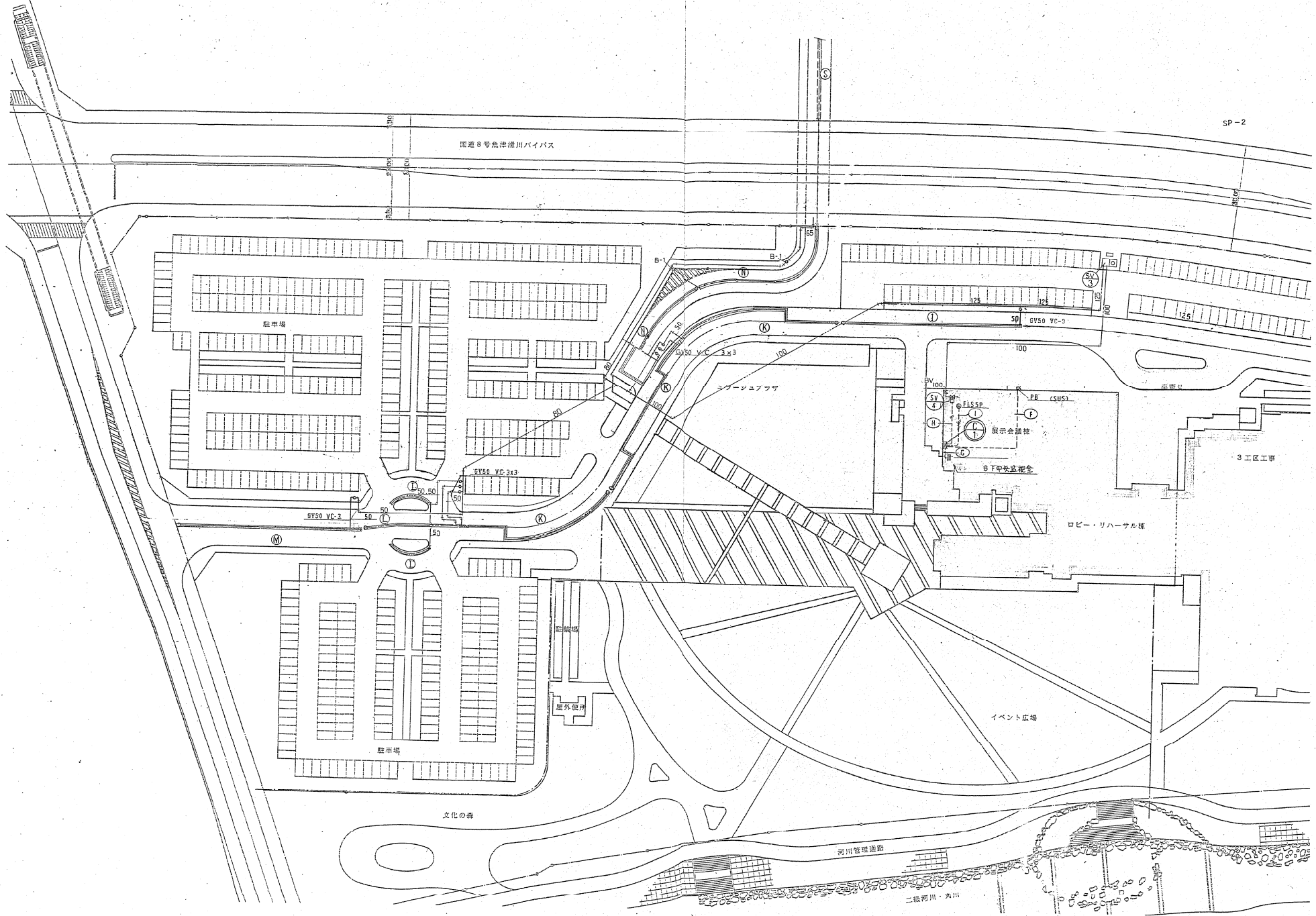
※5 新工事にともなう残土は積外搬出とする

別紙3-2
給排水衛生設備（外構部分抜粋）及びさく井工事完成図



設計者	設計	訂正	1102
承認	承認		
校印	校印	校印	
製図	作成		

別紙3-2
給排水衛生設備（外構部分抜粋）及びさく井工事完成図



図面	設計	作成
校閲	承認	訂正
製図	検印	

図面内容	図面番号
建設設計・施工監理地盤調査工事 〈その2〉	7
縮尺	区分
1/500	

魚津市文化の園整備事業

さく井工事

完成図

平成 6 年 9 月

発注者 魚津市

設計管理 株式会社 山下設計

施工者 アイエス工業株式会社 高慶さく泉

給排水衛生設備（外構部分抜粋）及びさく井工事完成図

1. 工事概要
1. 工事名称 魚津市文化の園整備事業さく井工事
2. 工事場所 富山県 魚津市 佐多町 香地

3. 建物概要（建物名称）
表: 構造, 階数, 延面積(m²), 消防令別表, 備考

4. 工事種目 (○印をつけたものを適用する。)
・衛生器具設備
・給水設備
・排水設備
・給湯設備
・消火設備
・厨房設備
・ガス設備
・浄化槽設備

II. 工事仕様
1. 仕様仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、建設大臣官房官庁官報部監修の機械設備工事共通仕様書（平成元年版）及び機械設備工事標準図（平成元年版）による。
2. 特記仕様
(1) 本図の○印の付いたもの、項目は○印の付いたもの、特記事項は○印の付いたものを適用する。
(2) ○印のない場合は、※印の付いたものを適用する。
(3) 特記事項に記号の()内表示番号は建設工事共通仕様の当該項目又は当該表を示す。
(4) 本工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には、県内産品を優先使用する。

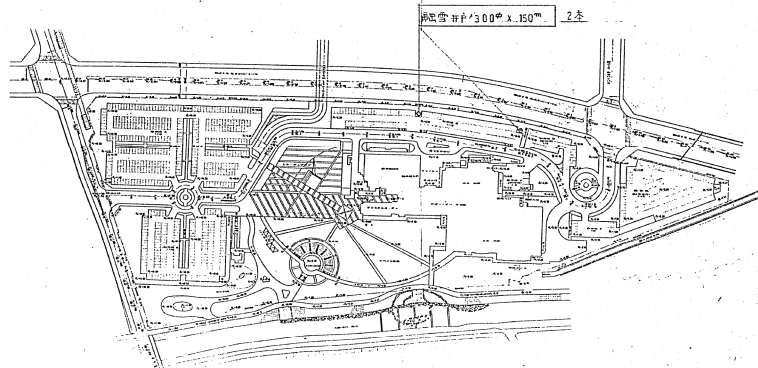
仕様表: 項目, 特記事項
①. 適用基準等
②. 素材
③. 発生材の処理
④. 主任技術者等の選定
⑤. 技能士の選定
⑥. 素材等の検査及び試験
⑦. 監督員等
⑧. 工事用電力・水・その他
⑨. 足場・さん橋等
⑩. 建築工事の取り扱い
⑪. 提出図書
(1) 工事写真
(2) 設計図
(3) 完成図
(4) 保守指導案内
12. 残土処理
13. 埋戻し及び工事
14. 地盤工
15. コンクリート工事
(1) 普通コンクリート
(2) 鉄筋
16. 塗装及び防錆工事
⑯. 保温工事
(1) 給排水衛生設備工事の保温

給排水衛生設備工事の保溫の細則
表: 区分, 施工箇所, 保溫の細則
管 (継手及び弁類を含む)
給水及び消火管
排水及び通気管
給湯管
井水
機械
配管
18. 容量等の表示
19. 電気工事
20. 許容措置
21. 土中埋設配管の防錆処理
22. 他工事との取り合い
23. 新り
24. スリッパ
④. その他
1. 大便器洗浄弁
2. 小便器用節水装置
3. 小便器洗浄用ハイタンク
4. 小便器洗浄管
5. 化糞槽
6. 既設流し台等
7. 緑記板
1. 排水方式
2. 排水器
3. 排水器材
4. 排水
5. 井

6. 配管材料
屋内配管
・ライニング鋼管(SGP-VB)
・ポリ炭素鋼管(SGP-PB)
・ステンレス鋼管(SUS304TPD)
・鉛管
2段
・SGP-VA・SGP-FVA・SGP-PA・SGP-FPA
地中埋設配管
・ライニング鋼管(SGP-VD)
・ポリ炭素鋼管(SGP-PD)
・耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)
・SGP-FVD
・SGP-FPD
※給水管の最小口径は20mmとする。
7. 可撓性手
一般共通事項によるほか下記による。
8. 防振
鋼管余わじり部及びフレックサジョイント等は、共通仕様書第2編2・2・1の仕様による。さび止めペイント2回塗り又はアングコート1回塗りを行う。
9. 水
屋上水
・FRP製一体形
・ステンレス製
受水
・FRP製一体形
・FRP製パネル形
・ステンレス製
・鋼板製
10. 水
高圧水
・受水
11. 保温
一般共通事項による。但し、下記部分は本仕様とする。
12. 水
新築
・アルミ製
・合成樹脂製
13. 管
埋設深さ
一般共通事項による。450mm以上。
14. 地中埋設
必要(図示の箇所)ただし、埋設深さ未満の管は不要とする。
15. 引込納付金
必要(別表)
16. 建物取入部
標準図の(a)・(b)・(c)による。
1. 排水方式
汚水放流先(公共下水・浄化槽)
雑排水放流先(公共下水・合併処理浄化槽・調整池)
2. 配管材料
汚水
・排水用鉄鋼管 JIS G 5525
・ステンレス鋼管 HASS 210
・コーティング鋼管 JIS G 3452
・硬質塩化ビニル管 VP 鉛管 HASS 203
雑排水
・配管用炭素鋼管 JIS G 3452 SGP-白
・コーティング鋼管 JIS G 3452
・硬質塩化ビニル管 VP 鉛管 HASS 203
屋外排水
・ヒューム管(B型)
・硬質塩化ビニル管 VP
3. 防振
給水設備の防振の項による。
4. 洗面器等の排水
洗面器及び手洗器に直結する排水管す法は、器具トラップより1サイズupとする。
既設流し台などの床面上部部の配管は、硬質塩化ビニル管VPでよい。
5. 排水弁及び布
取付標準図による。鋼製鋼管は県産品マーク入り。(1・8・4)(1・8・5)
図示箇所に取り付ける。
6. 排水
排水用鋼管の保溫はグラスウール保温管を使用してもよい。
7. ヒューム管、ビニル管の布
取付標準図による。
1. 排水設備の取組
・屋内消火栓
・ポンプクランポン
・ハロゲン化物物消火装置
・泡消火装置
・泡沫消火装置
・屋外消火栓
・沼池排水
・沼池排水装置
(1・5・1-9)
2. 配管材料
配管用炭素鋼管 JIS G 3452 SGP-白
圧力配管用炭素鋼管スケジューラ40以上(ハロゲン化物物消火)
外面ビニルライニング配管用炭素鋼管(SGP-PS) (地中埋設)
給水設備の防振の項による。
3. 防振
HB-1A
・HB-1B
・HB-2A
・HB-2B
4. 屋内消火栓
10kg/l
圧力調整弁
5. 消火栓弁
一般共通事項による。但し、下記の部分は本仕様とする。
6. 保温
・屋外露出配管(弁類含む)は、防振保溫を行うものとし、仕様は冷水管の項による。
7. 試験
ハロゲン化物物消火装置の放出試験は二酸化炭素を代用してよい。上記以外は(1・9・4)による。
8. 建物取入部
標準図の(a)・(b)・(c)による。
1. 使用ガス
・都市ガス
・液化石油ガス
2. 配管材料
配管用炭素鋼管 JIS G 3452 SCP-白
圧力配管用炭素鋼管 JIS G 3454 STPG

仕様表: 項目, 特記事項
3. ガス
ガス集合装置
4. ガスメータ
5. 弁・コック及び栓
(1) 弁
(2) コック
(3) 接続具
6. ガス
ガス検知器
7. 地中埋設指示
8. 埋設深さ
9. 試験
10. 建物取入部
標準図の(a)・(b)・(c)による。
1. 配管材料
・鋼管 C1220のMタイプ
・ステンレス鋼管 (JIS G 3448)
・取り付ける(鋼製ボイラ、熱交換器などに異種金属管を接続する場合)
2. 電
電線
3. 弁
使用するガス(都市ガス・液化石油ガス)
発熱量(kcal/m³)
発熱量(kcal/kg)
4. ガス
ガス検知器
5. ガス
ガス検知器
6. 煙突
煙突等
給湯ボイラ
煙突(本工事)
煙突(別表)
鋼板 (JIS G 3101)の厚さ(3.2mm)
ガス検知器
材質 ステンレス鋼板 SUS304
厚さ 0.5mm以上
7. 保温
一般共通事項による。但し、下記のものは本仕様とする。
・番付器から水栓までのコンクリート埋設配管は防水麻布巻とする。
・貯水タンク及び圧力タンクの保溫は(要)・不要とする。
1. 機械
ABC器取納箱
2. 貯水
ABC器取納箱
3. 処理
1. 処理
2. 処理
3. 処理
4. 処理
5. 処理
6. 処理
7. 処理
8. 処理
9. 処理
10. 処理

① 融雪水くさく井配管図

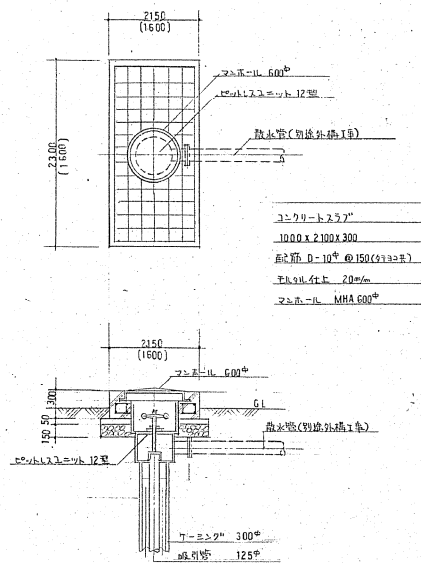


(2) 特記事項

1. 一般事項	<p>取組工事・取組中に発生する排水・汚水施設及び排水設備等の設置計画は、あらかじめ認可を得る。</p> <p>安全確保・ごみ収集の計画及び排水計画の計画は、1.8メートル以内の出入口の設置を行う。</p>
2. さく井工事	<p>さく井仕様・掘削径 1200φ (1200φ) ・さく井口径 500φ ・さく井深さ 150mm</p> <p>掘削工法・掘削機による掘削 (スクリュー式掘削機)</p> <p>ケーシング仕様・管径 JIS G 3452 (鋼) ・口径 300φ ・掘削機・掘削機、鋼板は2枚以上</p> <p>スクリーン仕様・掘削機・掘削機を掘削機で掘削し、打合せの工務となる。</p> <p>工法・ケーシング・スクリュー式掘削機 (スクリュー式掘削機)、掘削機、スクリーン口径の20%</p> <p>砂利充填・ケーシング及びスクリーンの埋設後、外周に10mm径の粗砂利を投入し、井筒の崩壊防止の効果を高める。</p> <p>前、井水上部には、汚水の浸入を防止する止水板を設ける。</p> <p>地下水調査・地下水調査の結果、ケーシングが180時間、3日連続する。</p> <p>漏水試験・漏水試験による。</p> <p>水質試験・</p>
3. コンクリート工事	<p>コンクリートスラブ・鉄筋コンクリート製 厚さ 1000 x 2100 x 300φ, マスコン MHA 600φ</p> <p>・コンクリート 強度 220φ</p> <p>・鉄筋 D-10φ @150, セル状仕立</p>
4. 排水設備	<p>ポンプ仕様・UP-1, 融雪水くさく井, 125φ x 1200φ x 40φ x 15φ (A-A 3φ 200φ 60φ) x 12φ</p> <p>材料品・ポンプ・ポンプ (厚さ12φ)</p> <p>・排水設備の設置は、ポンプ・ポンプ, 厚さ12φ</p> <p>制御盤・制御盤 (厚さ500 x 400 x 1600φ)</p> <p>降圧検知装置・検知・温度検知型 (外構部分仕様による)</p> <p>排水管・井筒内径 300φ x 1200φ x 40φ x 15φ (A-A 3φ 200φ 60φ) x 12φ</p> <p>防振工法・防振工法 20φ</p> <p>降圧検知装置・降圧検知装置, ナット径 50 x 30 φ</p>

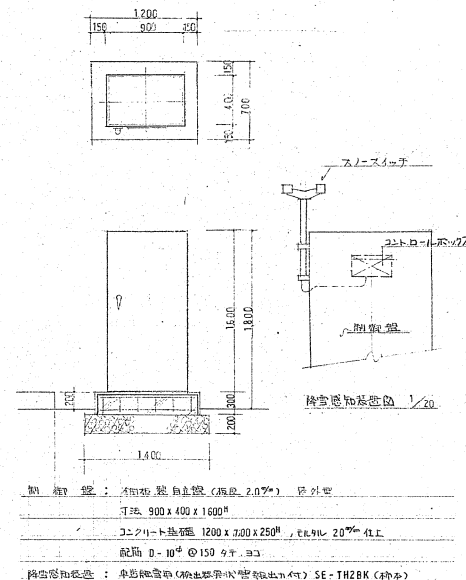
③ 融雪水くさく井口部詳細図

S-1/30

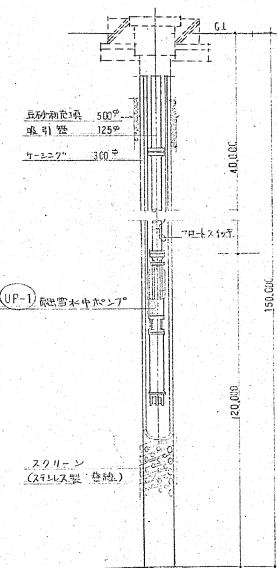


⑤ 制御盤・スリースイッチ図

S-1/30



④ さく井・融雪水くさく井工事図



⑥ 盤内結線図

